

CITATION: Alldred SK, Deeks JJ, Guo B, Neilson JP, Alfirevic Z. *Cochrane Database of Systematic Reviews* Cochrane Pregnancy and Childbirth Group, Issue 6. Art. No.: CD009925. DOI: 10.1002/14651858.CD009925  
CRG名: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group

## [最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 31 October 2007  
Clib issue No.; N/U: 2012 Issue 6; New

## アブストラクト

**背景:** ダウン症候群は、21番染色体を2コピーではなく3コピー保有するか、もしくはダウン症候群の原因に關与する特定領域が21番染色体に存在する人で発症する。同症候群は先天的原因として精神遅滞が最もよく見られるものである。母親の血清か尿の生化学分析、もしくは胎児の超音波測定に基づく非侵襲的スクリーニングにより、妊娠が悪影響を受けるリスクの推定が可能となり、最も確実な検査について決断する際の指針となる情報が得られる。

**目的:** ダウン症候群検出を目的とした第2三半期の血清マーカーの正確さを推定し比較すること

**検索戦略:** MEDLINE(1980年~2007年5月)、EMBASE(1980年~2007年5月18日)、EDINA経由のBIOSIS(1985年~2007年5月18日)、OVID経由のCINAHL(1982年~2007年5月18日)、The Database of Abstracts of Reviews of Effectiveness(コクラン・ライブラリ2007年第1号)、MEDION(2007年5月)、The Database of Systematic Reviews and Meta-Analyses in Laboratory Medicine(2007年5月)、The National Research Register(2007年5月)、Health Services Research Projects in Progress database(2007年5月)の感度の高い包括的な文献検索を実施した。文献リストと発表済みのレビュー論文を調査した。

**選択基準:** 妊娠14~24週目の女性を対象としたダウン症候群に関する母体の血清検査を、参照基準と比較するか、染色体の検証もしくは顕微鏡法による出産後検査のいずれかと比較して評価する研究。

**データ収集と分析:** データはダウン症候群および非ダウン症候群の妊娠に関して検査陽性/検査陰性結果として抽出し、検出率(感度)および偽陽性率(1-特異度)の推定を可能にした。QUADAS基準に従って質の評価を実施した。検査性能を解析し検査の正確さを比較するために、階層的な要約ROCメタアナリシス法を用いた。検査間の直接比較を可能にする研究の解析が着手されている。母体の年齢が検査性能に及ぼす影響はサブグループ解析で調査した。

**主な結果:** 341,261例の妊娠(ダウン症候群1,994例を含む)が含まれる59件の研究を選択した。研究の質は一般的に高かったが、鑑別的検証は高リスク妊娠の侵襲的検査のみで高頻度で見られた。17件の研究で検査間の直接比較が行われていた。次の12の異なる検査と母体年齢の組み合わせから構成される54の検査の組み合わせを評価した。すなわち、αフェトプロテイン(AFP)、非抱合型エストリオール(uE3)、総ヒト絨毛性ゴナドトロピン(hCG)、フリーβヒト絨毛性ゴナドトロピン(βhCG)、フリーαヒト絨毛性ゴナドトロピン(αhCG)、インヒビンA、SP2、CA125、トロポニン、妊娠関連血漿蛋白A(PAPP-A)、胎盤増殖因子(PGF)、および好酸球主要塩基性蛋白の前駆形(ProMBP)。

**レビューアの結論:** 2つ以上のマーカーを母体の年齢と組み合わせて含めた検査は、マーカーを1つ含む検査よりも有意に感度が高い。4つ以上の検査を組み合わせるかインヒビンを検査に含める価値が、統計学的に有意な改善を示すことは証明されていない。35歳超の女性での検査性能の低下ならびに研究所見に対する鑑別的妊娠中断の影響を調査するためには、さらに研究が必要である。

(監訳 江藤 宏美)

**翻訳公開日**:2015年 1月 27日

**ご注意**:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。